

平成30年度アドバイザー派遣事業実施レポート

鳥取県小学校教育研究会日野郡部会

1 研修テーマ

主体的に学習に取り組み、生活に活かしながら思考を深める子どもの育成

～主体的・対話的で深い学びを引き起こすための協調的な学びと、それが生きる特別活動～

本部会は、新学習指導要領が示している主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、研究テーマを「主体的に学習に取り組み、生活に活かしながら思考を深める子どもの育成」と設定している。キーワードは「主体的・対話的で深い学び」「学級経営」「特別活動」とし、教科の学習と生活との結びつきを重視しながら研究を進め、「主体的に学ぶ子」「生活に活かす子」の育成を目指している。

2 アドバイザー

國學院大學人間開発学部 教授 杉田 洋 先生

杉田洋教授は、文部科学省初等中等教育局で教科調査官や視学官を務められた経歴もあり、特別活動の第一人者として活躍しておられる方である。著書「よりよい人間関係を築く特別活動」の中でも、特別活動を中心に学校全体で豊かな人間関係を築き、学びを引き出すことが重要であると持論を述べておられる。今求められている資質・能力やそれを育む教育の在り方についてご指導いただき、教職員の指導力を高めていきたいと考えた。

3 研修の概要

日 時 平成30年8月21日（火） 13:30～15:30

場 所 日野町立根雨小学校 多目的ホール（日野郡日野町野田271番地）

内 容 講演会

演題 「よりよい自分、学校づくりのアクティブ・ラーナーを育てる
～ 特別活動を中核に据えて ～」

講師 國學院大學人間開発学部 教授 杉田 洋 先生

4 研修の成果

國學院大學の杉田洋先生に、「よりよい自分、学校づくりのアクティブ・ラーナーを育てる ～特別活動を中核に据えて～」という演題でご講演いただき、時代が求めている汎用的な資質・能力やそれを育む教育の在り方について示唆に富んだご指導をいただいた。特に、特別活動を核とした主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組について、今後の研究や実践につながるとても有意義な研修になった。

児童が主体的・協働的に学校生活が送れるようにするための学級活動の充実に向けて、「つかむ→さぐる→見つける→決める」意思決定の手順や、「出し合う→比べ合う→まとめる（決める）」といった合意形成の手順や方法について、具体的に児童の話し合い活動の様子を映像で紹介いただくことによって、実感を持って学ぶことができた。